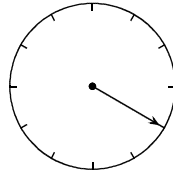


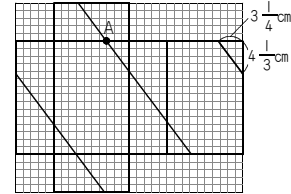
解 答

- 1 (1) $\frac{1}{9}$ (2) イ→ア→ウ (3) 108 cm (4) 12個 (5) 464番目
 (6) 170ページ (7) 6日 (8) 5月, 8月 (9) 時速16.8 km (10) オ
 2 ア 18度 イ 153度
 3 (1) 8 cm³ (2) 96 cm³
 4 (1) 65.5 百億円 (2) 1.9 倍
 5 (1) 2回転 (2) 右図
 6 右図

5 (2)



6



解 説

- 1 (3) $120 \times \frac{3}{5} = 72$ (cm), $72 \div \frac{2}{3} = 108$ (cm)
 (4) $(5 \times 2 =) 10$ の倍数は $100 \div 10 = 10$ (個), $(5 \times 5 \times 2 =) 50$ の倍数は $100 \div 50 = 2$ (個) あるので, 0 が $10 + 2 = 12$ (個) 続く。
 (5) 21 が 3 回目に現れるのは, $\diagup \cdots \cdots, 21, 22, \underline{21}, \cdots \cdots$ のとき。1 つ前の組の整数の個数は $22 \times 2 - 1 = 43$ (個) なので, $1 + 3 + 5 + \cdots + 43 + 22 + 1 = 21 \times 21 + 23 = 464$ (番目)
 (6) 読んだページ数の差は $30 - 2 = 28$ (ページ) なので, $28 \div (6 - 5) = 28$, $5 \times 28 + 30 = 170$ (ページ)
 (7) 1 人が 1 日にする仕事量を 1 とすると, 1 日に入ってくる仕事量は $(1 \times 10 \times 24 - 1 \times 16 \times 12) \div (24 - 12) = 4$ 。仕事を始めたときにたまっていた仕事量は $1 \times 10 \times 24 - 4 \times 24 = 144$ 。したがって, 28 人で行った場合は, $144 \div (1 \times 28 - 4) = 6$ (日)
 (8) $31 \div 7 = 4 \cdots 3$ より, 31 日ある月は, 1 日が金曜日か土曜日のとき 6 週目まであり, $30 \div 7 = 4 \cdots 2$ より, 30 日ある月は, 1 日が土曜日のとき 6 週目までである。31 日ある次の月は曜日が 3 つずれ, 30 日ある次の月は曜日が 2 つずれるので, それぞれの月の 1 日の曜日は右の表のようになるので, 5 月と 8 月になる。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日数	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31
1 日の曜 日	木	日	日	水	金	月	水	土	火	木	日	火

 (9) お姉さんのかかった時間は $40 - (10 + 20) = 10$ (分) なので, 分速は $2800 \div 10 = 280$ (m), 時速は $280 \times 60 \div 1000 = 16.8$ (km)
 (10) ア $3 \times 3 = 9$ (cm³) イ $3 \times 3 \times 3.14 \times \frac{1}{6} = 4.71$ (cm³) ウ $3 \times 3 \times \frac{1}{2} = 4.5$ (cm³)
 エ $3 \times 3 \times \frac{1}{2} = 4.5$ (cm³) オ 半径を \square とすると $3 \times \square \times \frac{1}{2}$, $\square < 3$ より, オが一番小さい。

- 2 $360 \div 5 = 72$ (度), $90 - 72 = 18$ (度) ……ア
 $180 - 72 = 108$ (度), $108 + 45 = 153$ (度) ……イ

- 3 (1) $2 \times 5 \div 2 + 1 \times 6 \div 2 = 8$ (cm)
 (2) $4 \times 4 \times 6 = 96$ (cm³)

- 4 (1) $182 \times 0.36 = 65.52 \rightarrow 65.5$ (百億円)
 (2) $488 \times 0.05 = 24.4$ (百億円) ……イ, $43 \times 0.3 = 12.9$ (百億円) ……ウ,
 $24.4 \div 12.9 = 1.891 \cdots \rightarrow 1.9$ 倍

- 5 (1) 円が 90 度回転したとき, 図 1 の点 P で重なるので, 矢印は図の位置で 180 度回転したことになる。つまり, 矢印は円の 2 倍回転することがわかるので, 円が 1 周したとき, 矢印は 2 回転する。
 (2) 図 2 のように, 円は $(180 \times 2 + 120 \times 2) = 600$ 度回転する。したがって, 矢印は $(600 \times 2 =) 1200$ 度回転するので, $1200 \div 360 = 3 \cdots 120$ より, はじめの位置から 120 度回転した位置になる。

図 1

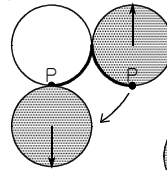


図 2

